



桜一第47号

令和5年2月1日

桜岡小学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sakuraoka>

つながる力 見守る力

副校長 原田 美智子

暦の上ではもうすぐ立春ですが、寒い日が続いています。毎朝、子どもたちは、花壇の霜柱を踏んでみたり、池の氷が凍っているかチェックしたりして、冬の寒さを楽しんでいるようです。

もうすぐ桜岡小学校に来て1年が経とうとしています。桜岡小学校で驚いたのは、登校中のトラブルの少なさです。学校の周りは、歩道がない細い道が多く、車や人もたくさん通ります。その中で、子どもたちが安全に登校できているのは、子どもたちを見守ってくださっている学援隊や旗当番、登校班に付き添う保護者の皆様のおかげだなと思います。本校にも、子どもの旗当番で月に何回か遅れてくる教職員がいます。ばたばたとやって来て、急いで教室へ向かう姿を見ると、きっと保護者の皆様も、旗当番や付き添いのために、仕事の融通をつけたり、いつもより早く起きてお弁当を作ったりしているのだろうと感謝の気持ちが湧いてきます。

今も新学期に向けて、校外委員さんは、新1年生を入れて新しい登校班を組んだり、登校班の集合場所になるマンションへお願いに行ったりと着々と準備を進めてくださっています。子どもが安全に、安心して登校することができるように、皆で工夫し、少しずつ力を出し合えたらいいなと思います。今後ともご理解、ご協力をお願いいたします。

1月28・29日に、1・5年生と年長さんの3回目の幼保小交流を行いました。初めて小学校に来たときは緊張していた子どもたちも3回目ともなると慣れたもの。正門を入った途端、「久しぶり〜!」と大きな声で挨拶をしてくれました。1年生や5年生とゲームをしたり、学校たんけんをしたりして、最後は「楽しかった!またね。」と笑顔とハイタッチで帰っていきました。

先日、6年生の卒業文集を全員分読みました。6年間の経験や学びをもとに、思い出に残っていることや将来の夢を、一人ひとりが自分の言葉で書いた作文は、とても素敵でした。「友達の大切さ」や「自分の成長」をストレートに書くことは、12歳の今しかできないことだと感じます。大人になったとき、懐かしくいい思い出として桜岡小学校のことを思い出せるように、卒業までの残りわずかな日々を大切に過ごして行ってほしいと思います。

この1年間、全ての学年の子どもたちが、幼保小交流や、まちたんけん、GIGA アンサンブル、鯖カレー作り等を通して、たくさんの人と関わり、つながってきました。子どもたちがいろいろな活動にチャレンジできるのも、協力してくださる地域の皆様、日々見守ってくださっている保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。1年間のまとめとして、自分の成長を振り返るとともに、お世話になった方々への感謝の気持ちも伝えていけたらと思います。